


<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

なみき

並木まさとし

34号



ナイスショット通信34号

46歳

発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町3-2-19-B
 TEL 048-541-7777 FAX 048-543-8000 MAIL namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

10月24日から11月24日までの1か月間、平成27年度の決算を審議する決算特別委員会が開催されました。この間の視察として、平成25年に閉校した県立入間高校の校舎を改修し普通科と職業学科を併設して今年4月に開校した「県立入間わかさ高等特別支援学校」、川口市の「埼玉県産業技術総合センター」(SAITEC)、伊奈町の「埼玉県立精神医療センター」、オゾン酸化と生物活性炭吸着処理を組み合わせた高度浄水処理をおこなっている三郷市の「新三郷浄水場」を訪ねました。

今回、初めての決算委員会でしたが、積極的に質問をしたことで多くの意見や提言に繋がられたと感じます。今後も県政の取り組みがどう変化したのかをしっかりとチェックしていきたいと思います。

子育て支援 ・ ・ 埼玉県は「パパ・ママ応援ショップ優待カード」の協賛店が20,463店舗で全国最大規模となっているが、店舗数を増やすと同時に子育て世代が日常的に利用するような店舗を増やすこと（本県ゆかりのヤオコーやしまむらなど）

高齢者支援 ・ ・ 地域包括ケアシステムの中心的役割を担う24時間定期巡回・随時対応サービスは事業者・利用者数共に伸びていないため、普及と展開を加速させとること

交通対策 ・ ・ ・ 市町村から要望の多い信号機の設置については予算の拡充を図り、要望に応えられるよう通学路を中心に整備すること

農産物支援 ・ ・ 県産農産物の産出額は花が全国5位、野菜が全国6位であり、農業における後継者問題や耕作放棄地の解消に向けた基盤の強化が必要である。



県内本社の食品加工企業で使用されている農産物の産地調査をおこない、多くの県産農産物の販路と流通の拡大をはかること

企業誘致 ・ ・ 平成27年までの10年間で他の都道府県から県内に本社を移した転入企業は2,400社。県外への転出企業は1,473社で、転入超過数が全国トップである。鴻巣市など圏央道以北にも積極的に産業ストックを推進し誘致をはかること

	H24年	H25年	H26年	H27年
普通運転免許の取得者数	70,056人	71,450人	73,829人	72,787人
所持者の平均年齢（全免許）	47.2歳	48.2歳	48.5歳	48.8歳
返却数（免許返納者数）	6,608人	8,238人	13,029人	19,073人
警察署からの信号機要望数と設置数（県内）	237/86	215/87	149/60	119/28

北足立郡市医師会(鴻巣市・北本市・桶川市・伊奈町)より、来年1月に発行される北足立郡市医師連盟第1号への投稿依頼をいただきましたので、一部を紹介いたします。

～地域包括ケアシステムの構築に向けた考え方～

本県の65歳以上の高齢者は平成28(2016)年の178万人から平成37年(2025)には203万人に増加する見込みです。

特に75歳以上の後期高齢者は平成28年の76万人から10年間で1.6倍の121万人に増加し、高齢者のみ世帯も23%に急増します。

今後、県央地域においても75歳以上の後期高齢者が約3万人増加する見込みの中で①介護状態に陥らないためのウォーキングや体操などの健康づくり②高齢者のみの世帯やひとり暮らし高齢者の安心感が増し、介護する家族の負担を軽減するサービスとして期待される24時間の定期巡回・随時対応サービスの充実③介護人材の確保④サービス付き高齢者住宅や介護保険施設の整備⑤健康診査や保健指導など生活習慣病予防の支援⑥食(栄養)のバランス⑦新聞・ガス・水道事業者などを通じた見守り体制の構築⑧元気な高齢者が活躍できる体制づくりなどを加速させる必要があると考えます。

埼玉県議会議員 並木まさとし

来年3月12日に改正道路交通法が施行されます！

- ①18歳から取得可能な免許として「準中型免許の新設」
- ②リスクの高い高齢運転者対策として「臨時認知症検査と臨時高齢者講習」

平成19年の改定(現在)

最大積載量	車両総重量	乗車定員	～10人	～29人	30人
6.5t	11t	大型免許			
5t	8t	中型免許			
3t	5t	中型(8t限定) ※改定前に普通だった人			
		普通免許			

来年3月12日から

最大積載量	車両総重量	乗車定員	～10人	～29人	30人
6.5t	11t	大型免許			
5t	8t	中型免許			
3t	5t	中型(8t限定)			
		準中型(新設)			
		準中型(5t限定) ※改定前に普通だった人			
2t	3.5t	普通免許			

改正前は普通免許と大型免許の2種類でしたが、平成19年の改定により、それまで普通免許保有者の方は中型(8t限定)になっています。中型免許に替わっていることに気付いていない方も多そうです。

高齢運転者対策

今までは普通免許から2年経過しないと中型免許(20歳以上で普通免許保有2年間)を取得できませんでしたが、改正後は最初から準中型を取得できます。物流関係でトラックの運転が必要な方には朗報です。H19年改正後に取得した方は5t限定。

高齢ドライバーの事故が急増しているため、これまで3年に1度の免許更新時だけ受けている認知症検査が75歳以上で一時停止や信号無視など一定の違反があった場合、3年を待たず検査又は診断書提出命令となります。また、改正前と異なり更新時の検査で認知症のおそれがあると判定された方は違反の有無を問わず医師の診断。

昭和45年(1970)鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(20年目)/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市議会議員2期/平成27年埼玉県議会議員初当選/警察危機管理防災委員/危機管理・大規模災害対策特別委員/決算特別委員/家族/妻・長女(大学生)・長男(中学生)・愛犬レオ